

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 30 年 7 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 30 年 4 月～6 月期の実績および平成 30 年 7 月～9 月期の見通し
について調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	16 社	53.3%
水産業部会	30 社	22 社	73.3%
機械工業部会	30 社	11 社	36.7%
建設業部会	30 社	17 社	56.7%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	16 社	53.3%
合 計	150 社	82 件	54.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－業況は回復傾向。次期は横ばいの見込み－

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成30年4月～6月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比では▲10.9**と前年同期の▲15.6(※前回調査時▲23.4)より**4.7ポイント改善**という結果になりました。

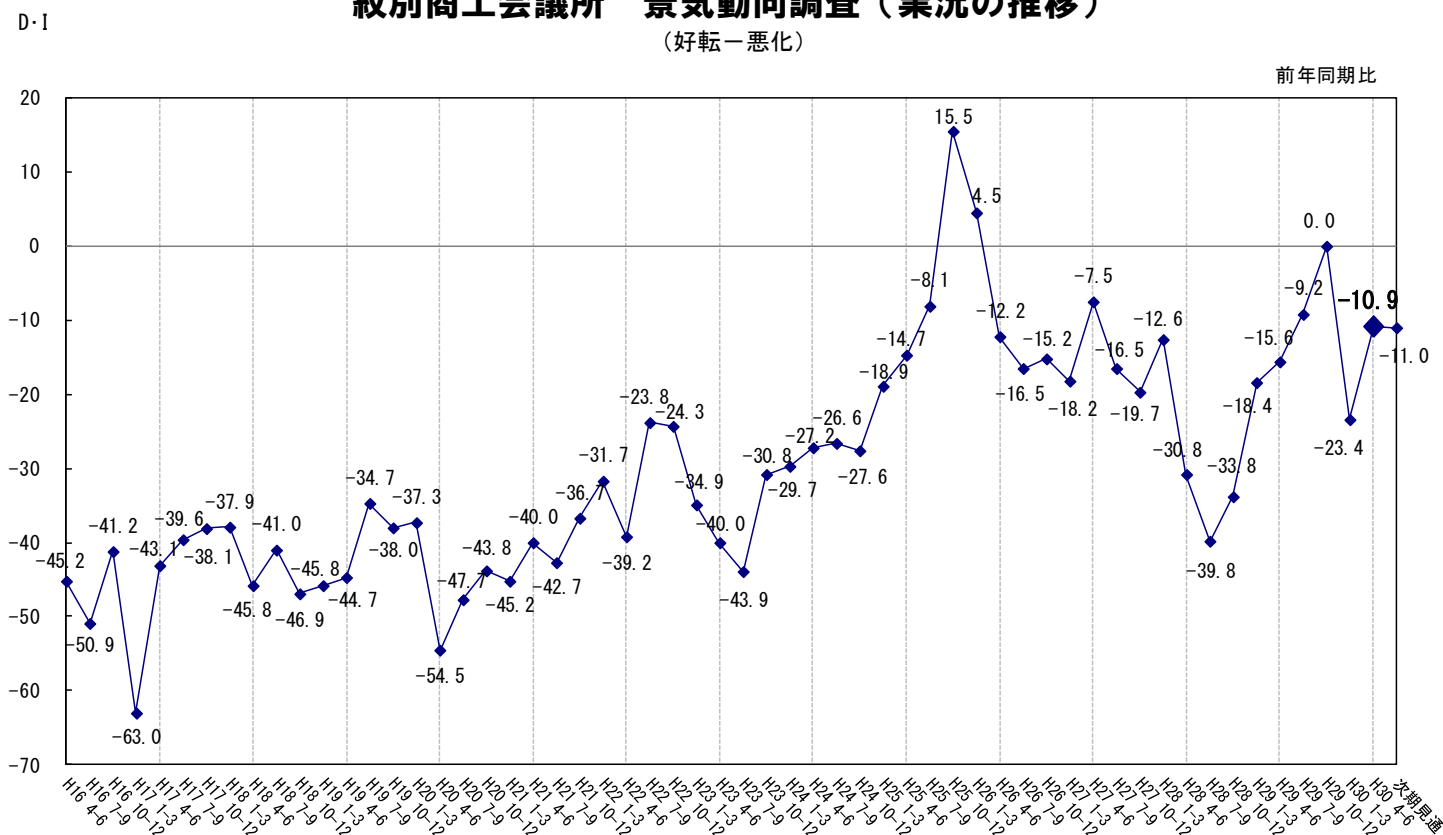
部会別に前年同期(平成29年第1四半期)と比較すると、商業・食品業[前年DI値▲17.6→今期▲43.8]、水産業[前年DI値▲35.7→今期18.2]、機械工業[前年DI値▲25.0→今期18.2]、建設業[前年DI値▲11.1→今期▲35.3]、観光・サービス・諸業[前年DI値0.0→今期▲12.5]となりました。

水産業が前年同期比で53.9ポイント、機械工業43.2ポイントの大きな改善となり、他の業種が悪化を示す中、業種全体のポイントを改善へさせる結果となりました。不変との回答が大きな割合を占める中、前年同期よりも悪化を示す値が減少し、好転の回答がやや増加しました。

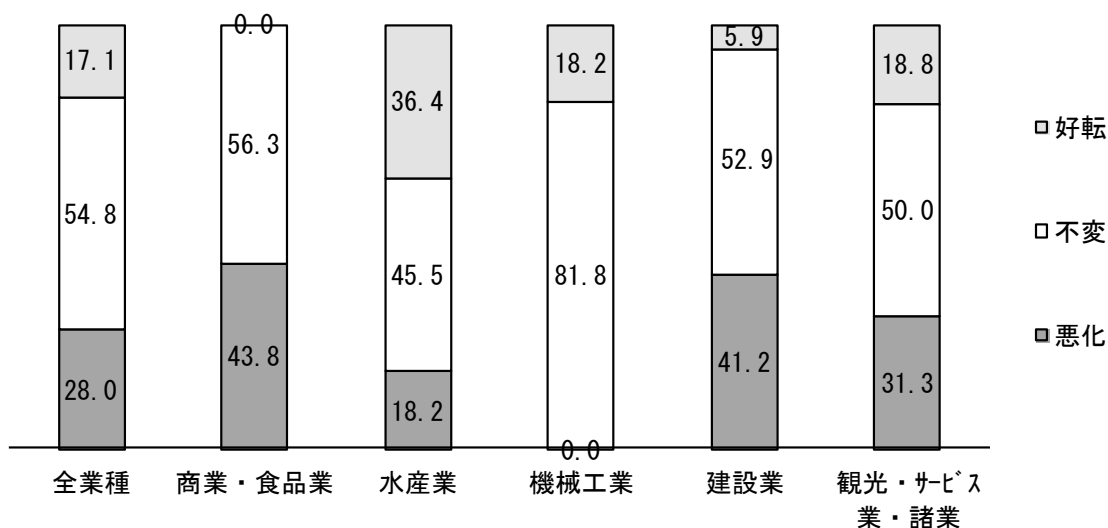
来期(平成30年7月～9月)については、今期と比べて業況判断DIが0.1ポイントわずかに悪化と、ほぼ横ばいの予測になっています。今回の調査で悪化を示した商業・食品業、建設業がマイナスながらも今期よりも回復傾向を示している他、水産業も前年同期及び前回調査時よりも業況の好転を示す回答が多くなっている事から、更なる市内景気の回復に期待が持たれます。

紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)



今期の業況（前年同期比）



経営上の問題点としては、依然として需要の停滞と仕入れ単価、原材料等の価格上昇を訴える声が多寄せられています。その他全業種通して従業員の確保難を訴えております。また、生産設備の老朽化も観光サービス・諸業、水産業を中心に多くなってきています。

■部会別の動向

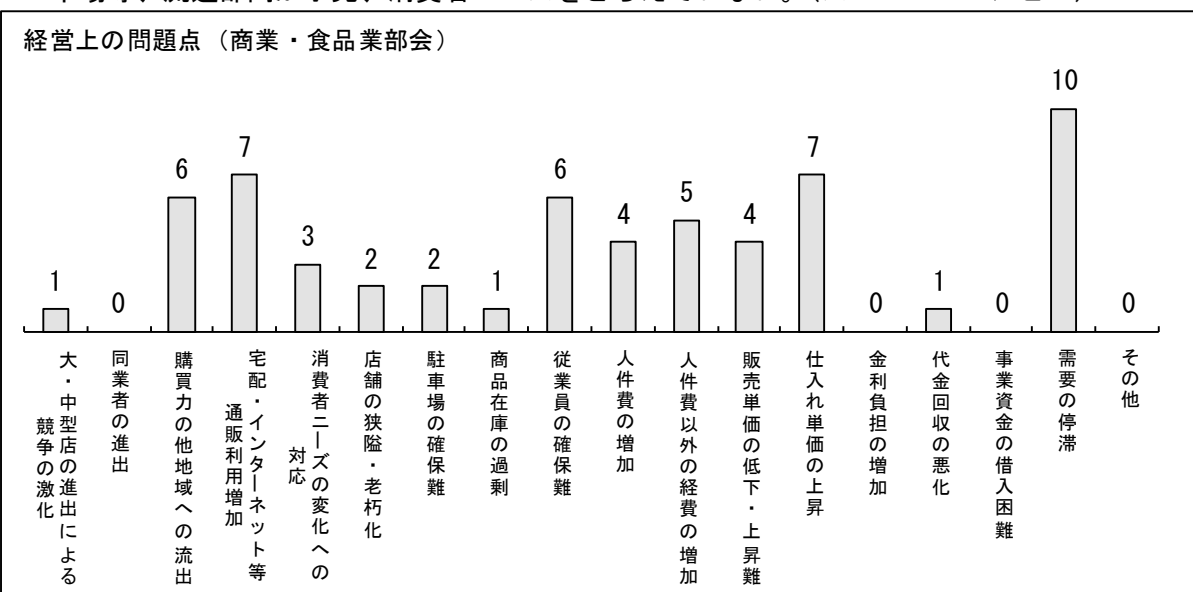
【商業・食品業部会】〔業況判断 DI 値（前年同期比）▲43.8（前年 DI 値▲17.6、来期見通し▲18.8）〕

業況 DI 値（前年同期比）は、前回調査時の▲52.9と比較すると回復していますが、前年同期より26.2ポイントの大幅な悪化となりました。特定の業種に偏らず、食品や燃料、日用品等小売店全体で業況の悪化を示しました。大型店の集客力や大手宅配サービス、インターネットの普及による顧客の流出により、生活に密着した小売店等からは、悪化の値を示す回答が多くなっています。次期は夏の観光が始まることによる観光客の入り込みや合宿誘致等により、小売店を中心にやや回復するとの回答があり、▲18.8と悪化ながらも値は小さくなっています。

経営上の問題点は、「需要の停滞」「宅配・インターネット等通販利用増加」「仕入単価の上昇」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・低温続きにより、夏物の販売が厳しかった。（衣料品小売）
- ・市場等、流通部門が小売、消費者ニーズをとらえていない。（スーパー・コンビニ）



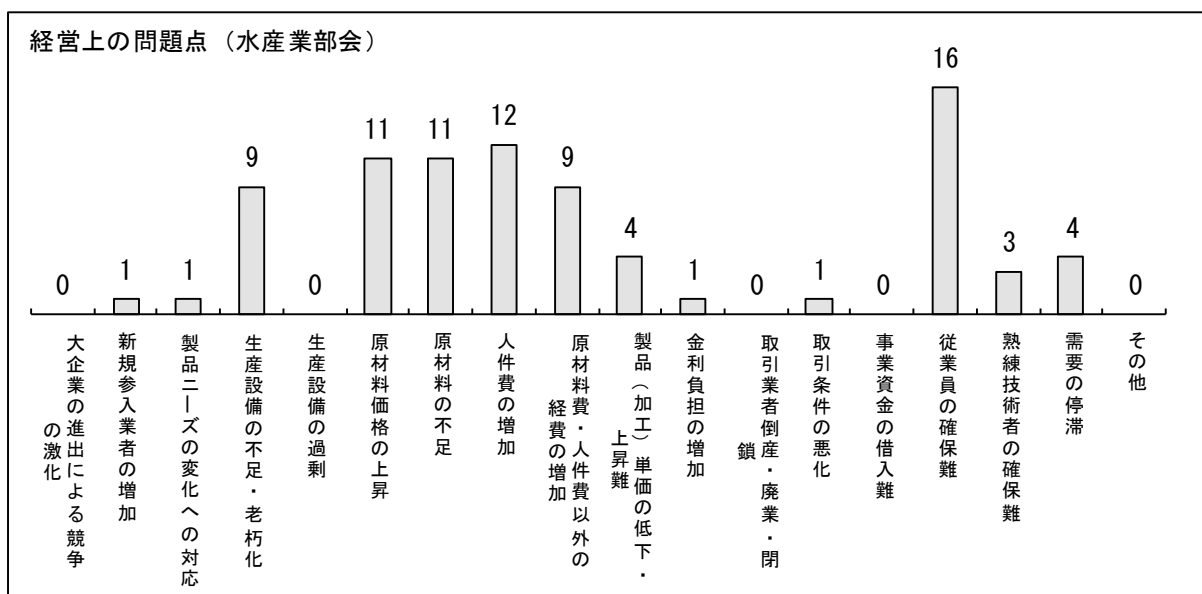
【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）18.2（前年DI値▲35.7、来期見通し18.2）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年よりも53.9ポイントの大幅な回復となりました。春の味覚の代表である毛がにの水揚げ量は昨年よりも更に減少し、価格が高騰していました。また主力である帆立は比較的小さいサイズながら資源が回復してきており、加工業者への荷割も増加傾向にあるとの声も寄せられています。また、ここ数年不漁が叫ばれていたホッケが、今年は昨年よりも順調な水揚げとなっている事も回復の要因になったと考えられます。来期の見通しは、18.2と同ポイントと、横ばいの見通しとなっています。

経営上の問題点としては「従業員の確保難」が突出しており、次いで「人件費の増加」「原料価格の上昇」「原材料の不足」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・ここ数年、水揚げされる魚種の変化が大きく、オホーツク海では水揚げされていなかった魚が大量に水揚げされるなど（ブリ、フグ等）従来水揚げされる魚種に依存していたのでは、経営が不安定となるため、今後水揚げされる業種に臨機応変に対応していかなければならないと考えています。（水産加工）



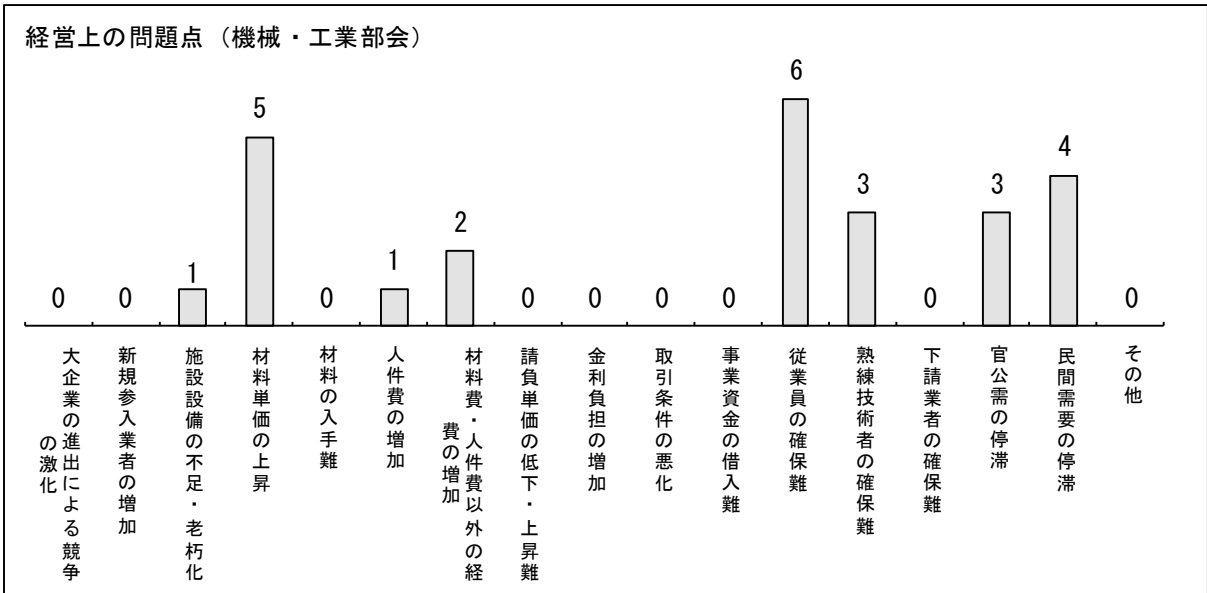
【機械・工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）18.2（前年DI値▲25.0、来期見通し0.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年DI値と比べると43.2ポイントの大幅な回復となりました。今期の調査では、悪化を占めず回答がなく、「不変」と「やや好転」の回答となり、大幅なポイント回復となりました。自動車整備や印刷業を始めとした多くの業種で「不変」、漁業資材の製造業や木材関連で「やや好転」との回答でした。最盛期には及ばないものの、漁業の資源回復と共に資材の受注、生産が活発になってきたものと思われます。また、林業関連では2020年の東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場となる新国立競技場の一部や北海道大学構内に新しくオープンしたセイコーマートなど、紋別産の認証材が使用され、広く認知され始めています。次期見通しは「やや悪化」と「やや好転」の回答が同ポイントとなり、DIは0.0となりました。

経営上の問題点は「材料単価の上昇」、「従業員の確保難」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・昭和6年創業以来、2代目として84年間営業を続けており、現在は機械化されてスムーズに生産しておりますが、搬出、搬入が高齢化と共にきつく、「危険・汚い・きつい」3Kの為、後継者の確保が難しく、残念ながら将来は廃業の憂目に合うのが必至です。現在は老体にムチ打って家庭内工業で頑張っています。（室内装飾業）
- ・若手人材の確保難などによる今後の会社存続。ベテラン技術者退職後に起こる技術者不足。（鉄工業）



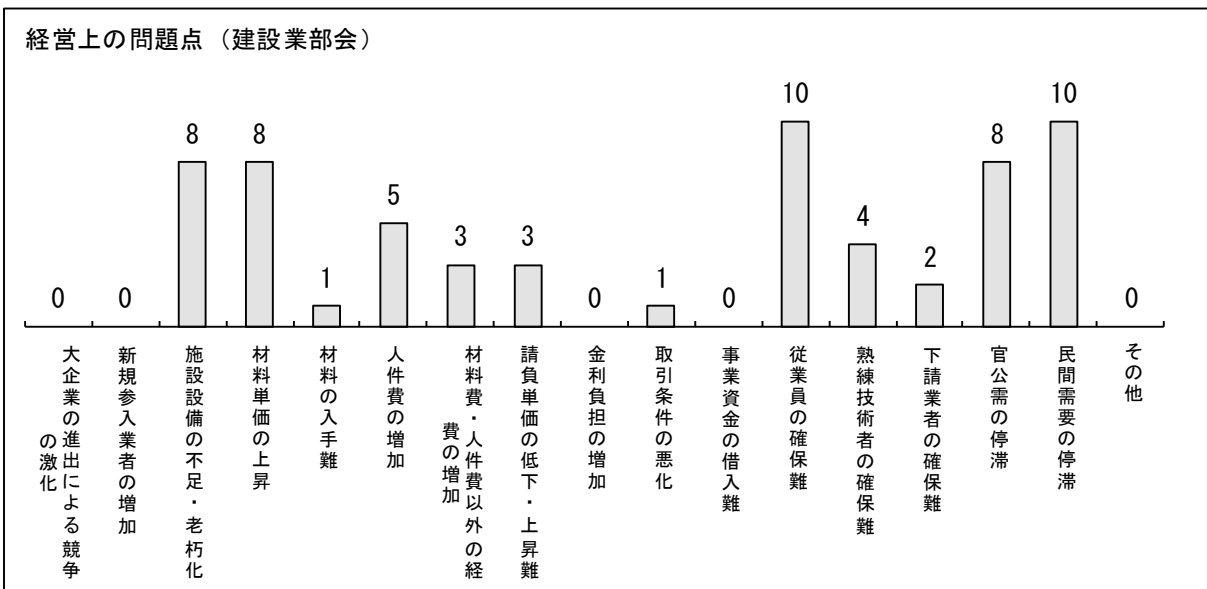
【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲35.3（前年DI値▲11.1、来期見通し▲17.6）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年DI値から24.2ポイントの悪化となりました。昨年はまちなか市営住宅や給食センターの内装や電気工事といった面で公共工事が多くなっていましたが、そうした大規模な工事が少ないことや民間の需要が停滞していることから、大きく悪化に転じました。まちなか市営住宅の2棟目の建設も進んでおり、下請け業者への業務発注も進むと思われるが、従業員の確保が出来ずに苦慮しているとの声も寄せられており、来期は悪化の値は減少するものの、依然としてマイナスとなっています。

経営上の問題点は「従業員の確保難」「民間需要の停滞」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・作業員の成り手が少ない！（電気設備）



【観光サービス・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲12.5（前年DI値0.0、来期見通し▲43.8）〕

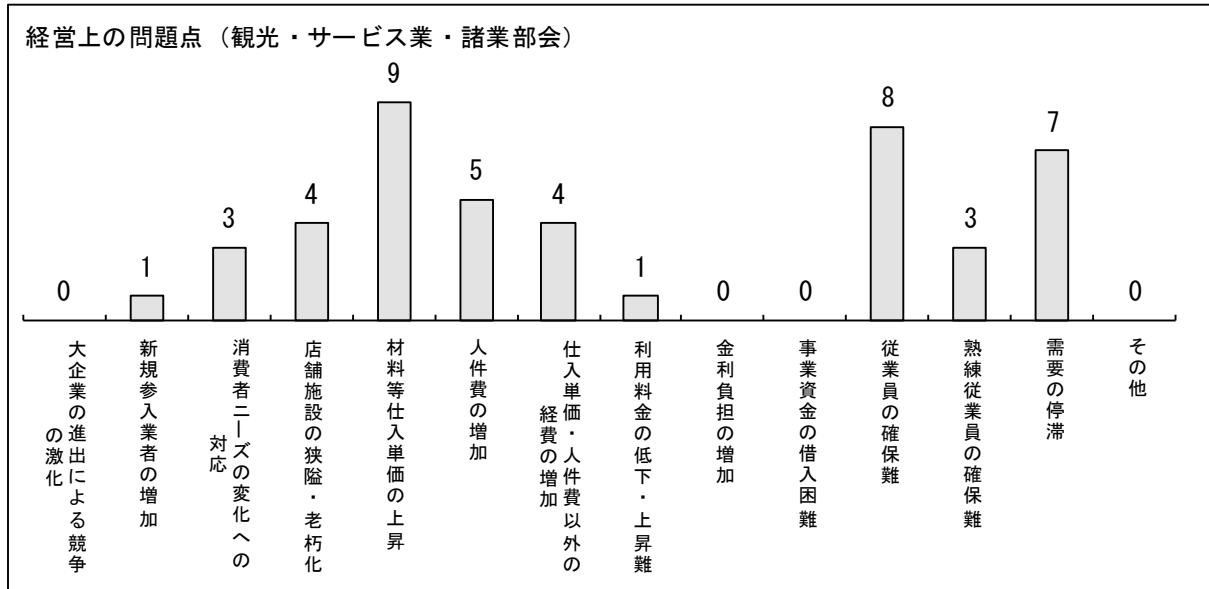
業況判断DI値（前年同期比）は前年DI値よりも12.5ポイントの悪化となりました。不変の回答が大部分を占める中、季節の変わり目という事からクリーニングやレンタカー、運送業、不動産業においてやや好転との回答もありましたが、多くの業種で高齢化や節約志向等から客数が減少し、業況が悪化しているとの回答が寄せられています。需要の停滞に加え、食材等の仕入れ単価の上昇等も業況悪化の大きな要因となっています。来期見通しは▲43.8ポイントと

更に大幅な悪化の予想となっております。

経営上の問題点としては、「材料等仕入れ単価の上昇」「従業員の確保難」「需要の停滞」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・ 従業員の確保が困難（飲食業）
- ・ 人口が増えない限り、大変な状況が続くと思います。（旅客運送業）



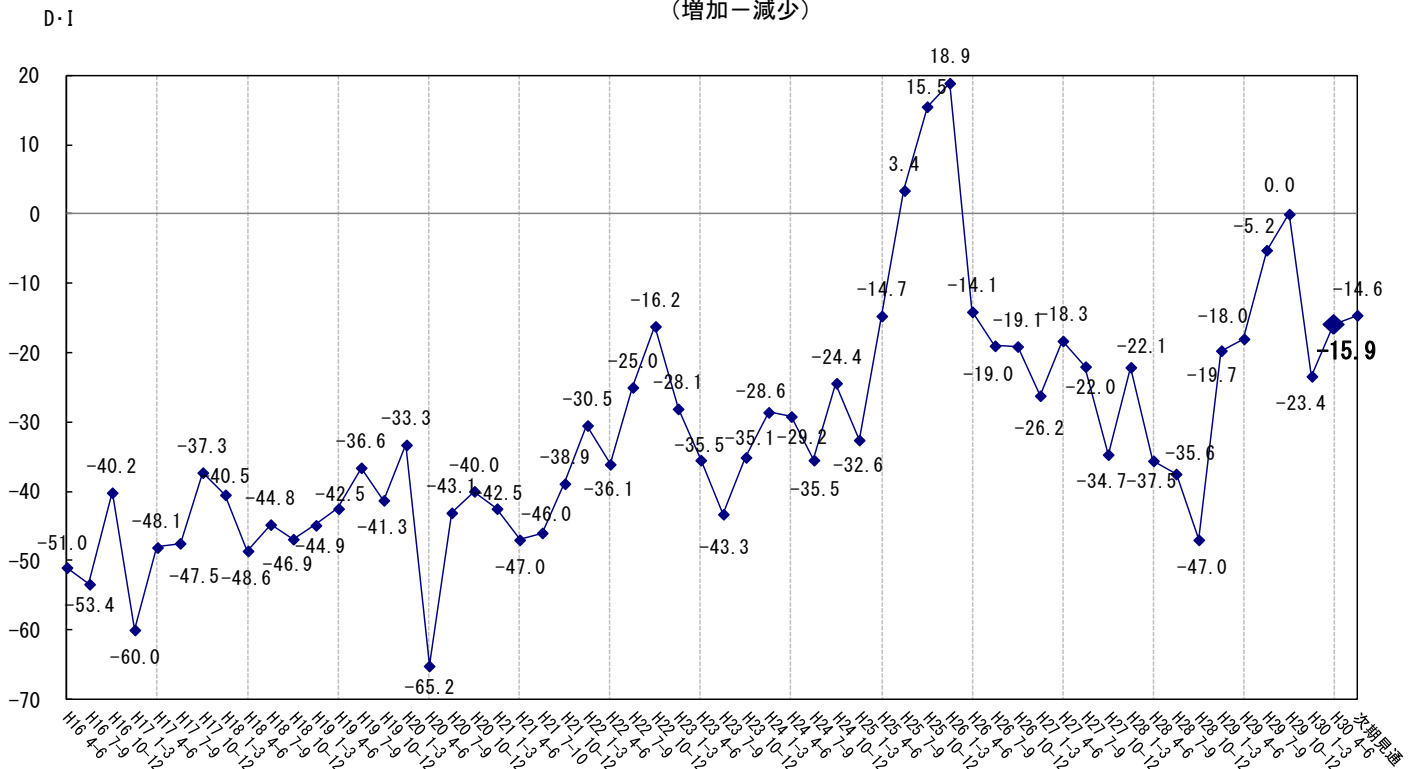
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

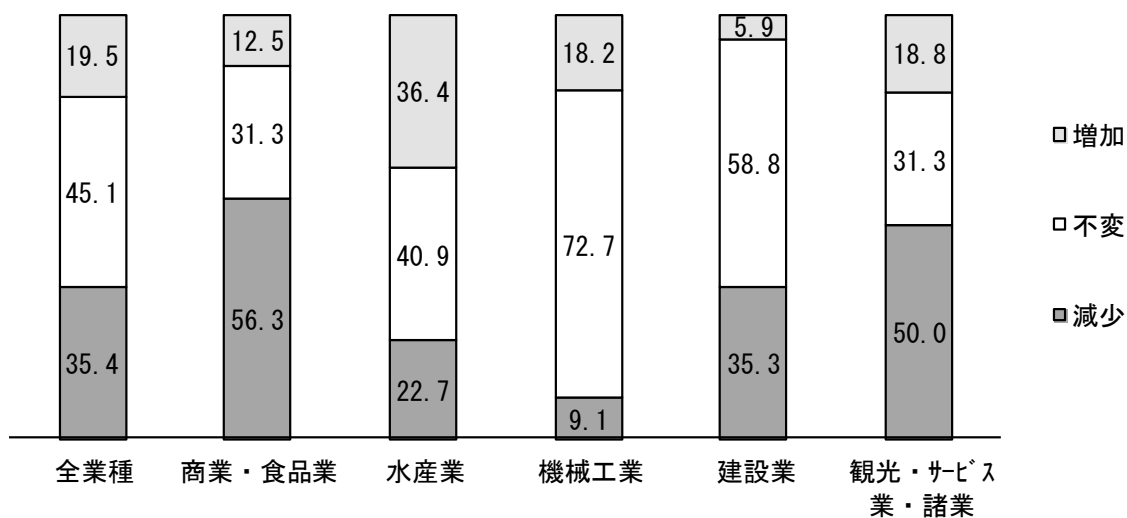
【前年同期比】（平成29年4月～6月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高・生産高推移（全業種平均D・I）

（増加－減少）



今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値▲15.9〔前年DI値（平成29年4～6月期▲18.0）よりやや回復〕

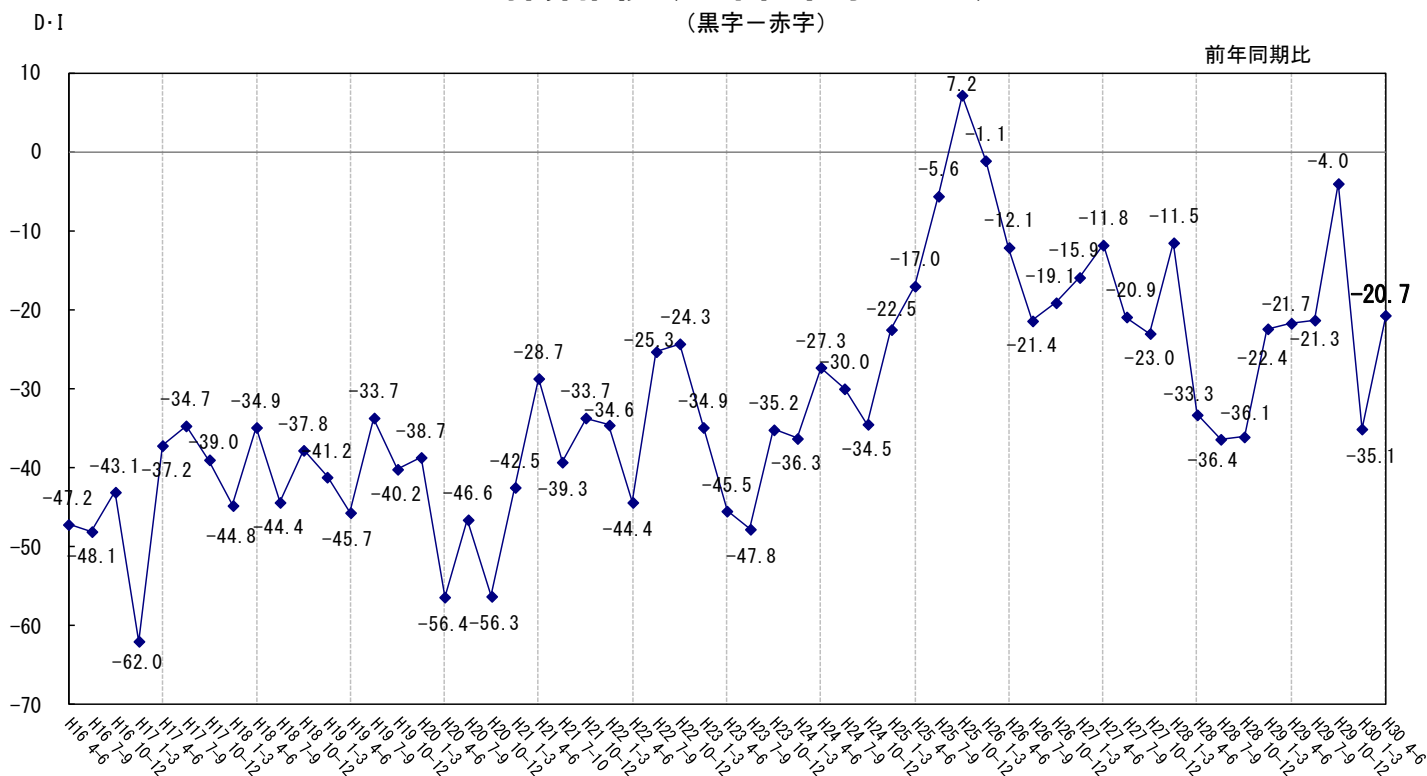
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲41.2→▲43.8〕、水産業〔前年▲28.6→13.6〕
 機械工業〔前年0.0→9.1〕、建設業〔前年▲5.6→▲29.4〕
 観光・サービス業〔前年▲13.6→▲31.3〕

(2) 今期の採算

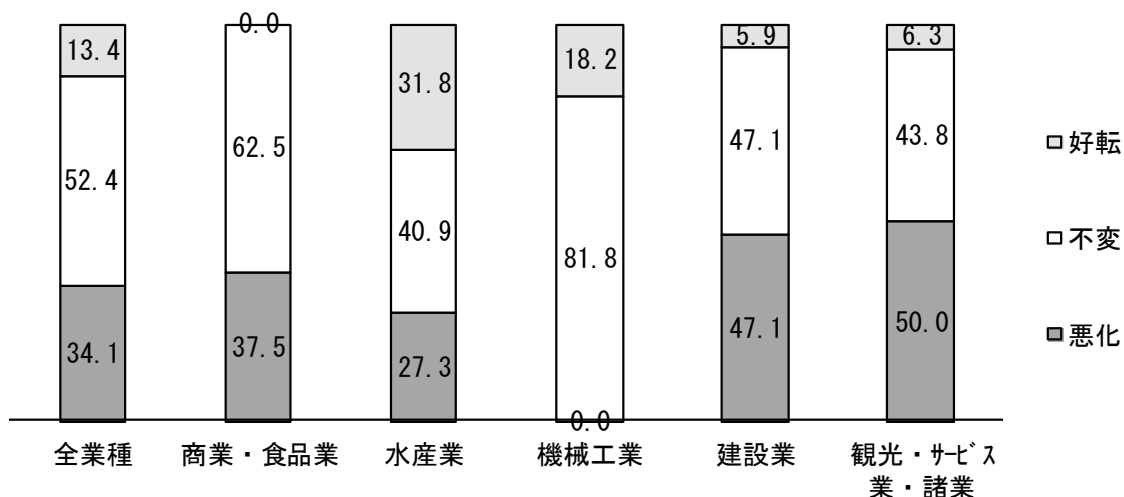
【前年同期比】（平成29年4月～6月期の水準と比較した今期の採算水準）

採算推移（全業種平均D・I）

（黒字－赤字）



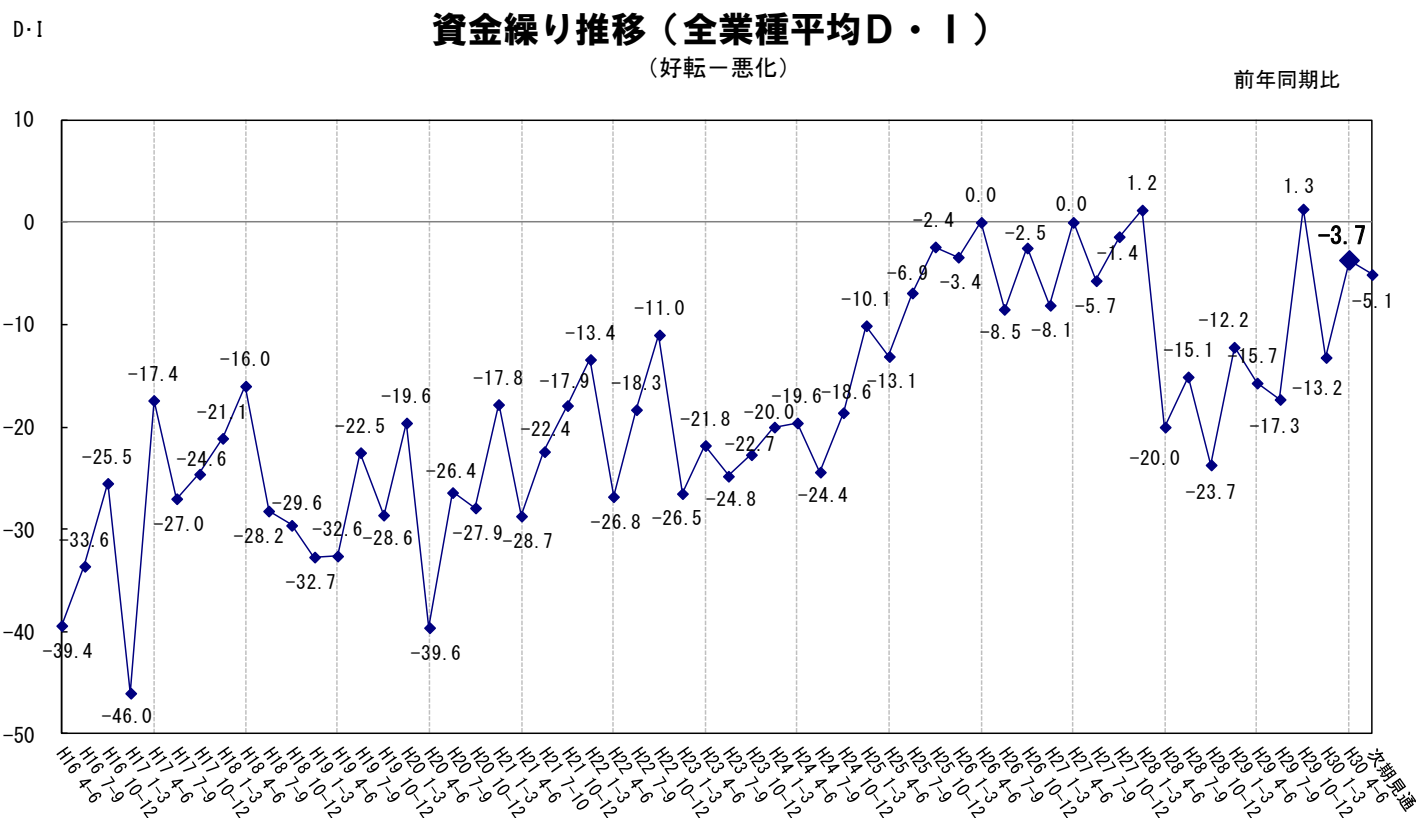
今期の採算（前年同期比）



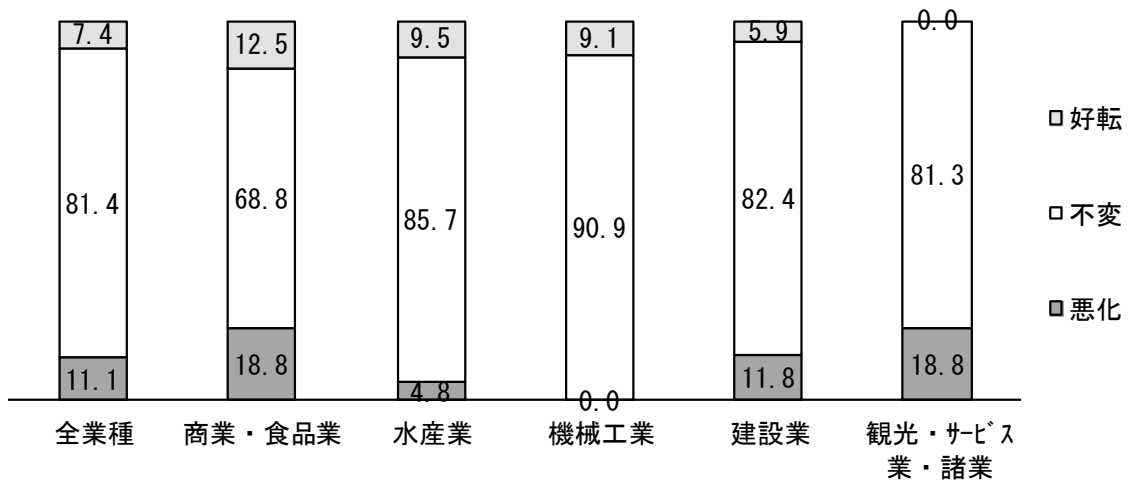
全業種平均でDI値▲20.7〔前年DI値（平成29年4～6月期▲21.7）より1ポイント好転〕
 [部会別DI値] 商業・食品業〔前年▲23.5→▲37.5〕、水産業〔前年▲42.9→▲4.5〕
 機械工業〔前年▲16.7→▲18.2〕、建設業〔前年▲11.1→▲41.2〕
 観光・サービス業〔前年▲18.2→▲43.8〕

(3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成29年4月～6月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



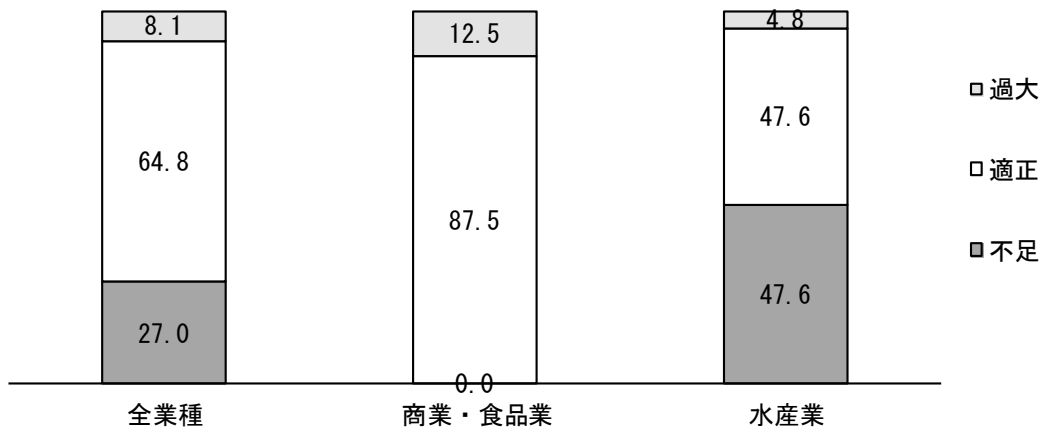
全業種平均でDI値▲3.7〔前年DI値（平成29年4～6月期▲15.7）より12ポイント好転〕

[部会別DI値] 商業・食品業〔前年▲5.9→▲6.3〕、水産業〔前年▲28.6→4.8〕
 機械工業〔前年▲16.7→9.1〕、建設業〔前年▲16.7→▲5.9〕
 観光・サービス業〔前年▲13.6→▲18.8〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成29年4月～6月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）

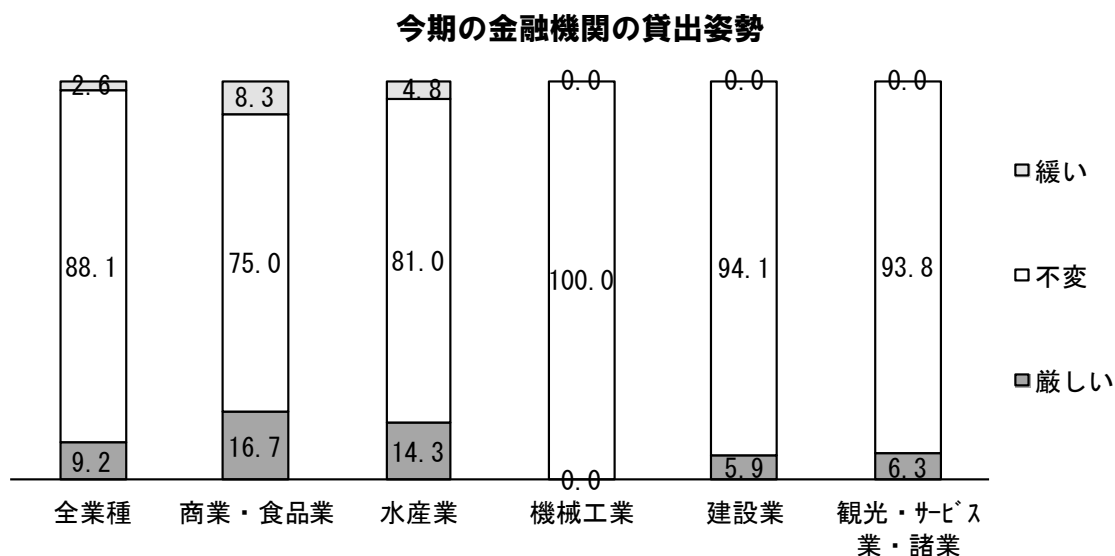


全業種平均でDI値▲18.9〔前年DI値（平成29年4～6月期▲29.0）より10.1ポイント回復〕

[部会別DI値] 商業・食品業〔前年▲5.9→12.5〕、水産業〔前年▲57.1→▲42.9〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

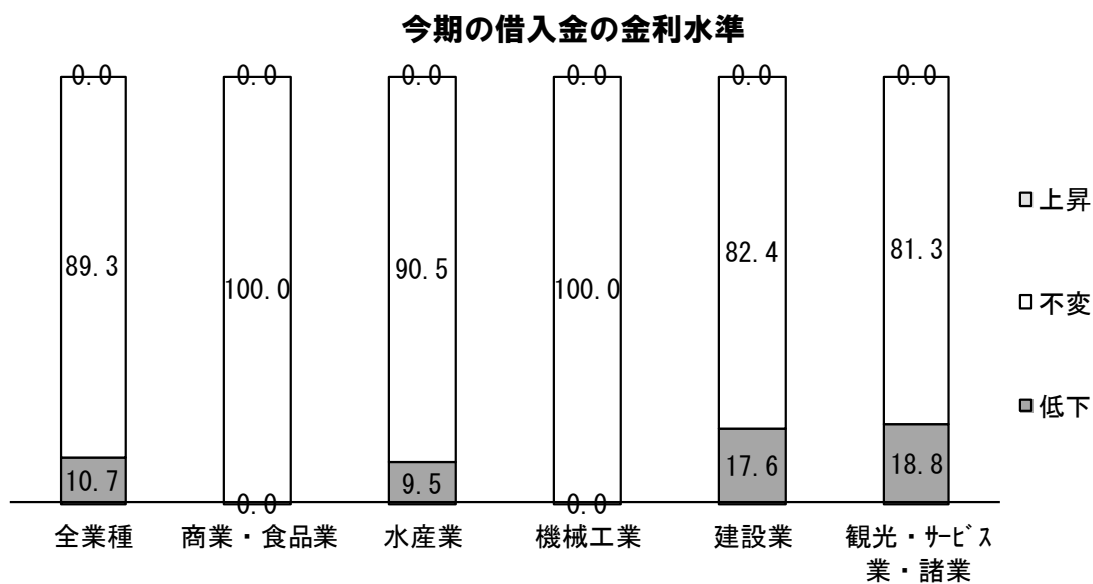
【前年同期比】（平成 29 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）



全業種平均▲6.6ポイント。商業食品業▲8.3、水産業▲9.5、機械工業 0.0、建設業▲5.9、観光サービス業▲6.3。

(6) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（平成 29 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

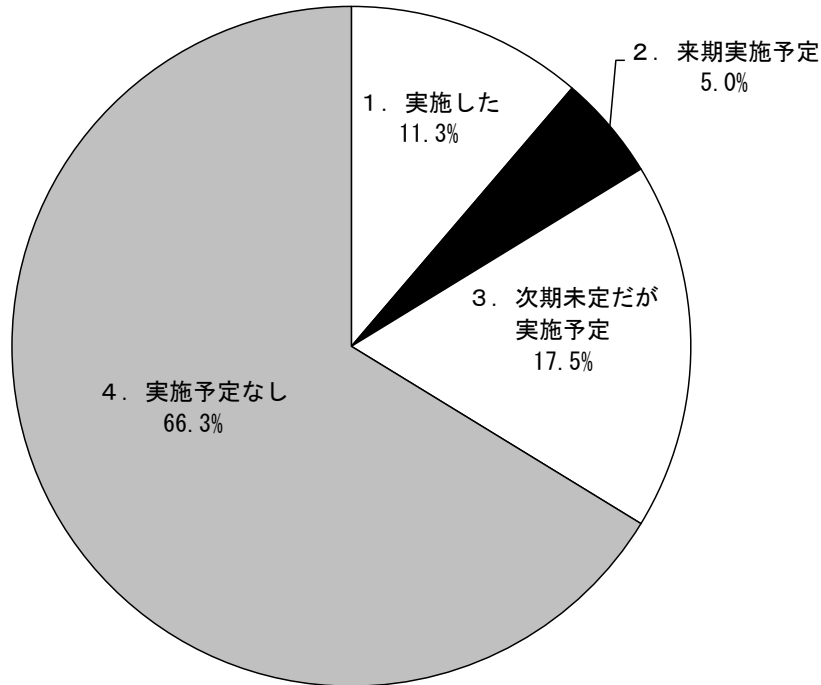


全業種平均で▲10.7ポイント。商業食品業 0.0、水産業▲9.5、機械工業 0.0、建設業▲17.6、観光サービス業▲18.8。

(7) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

設備投資の実施状況

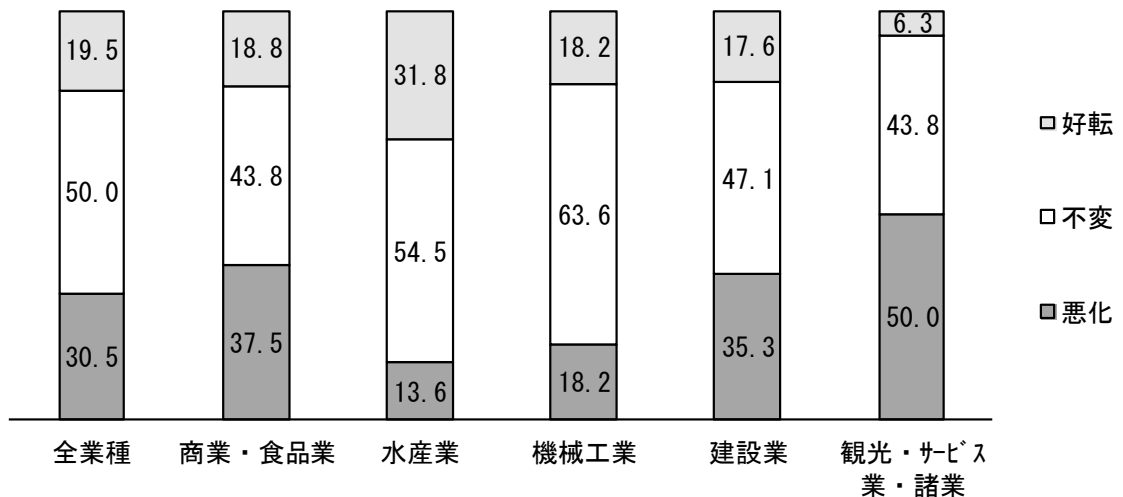


3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】（平成30年4月～6月期の水準と比較した来期の業況見通し）

次期の業況見通し（今期比）

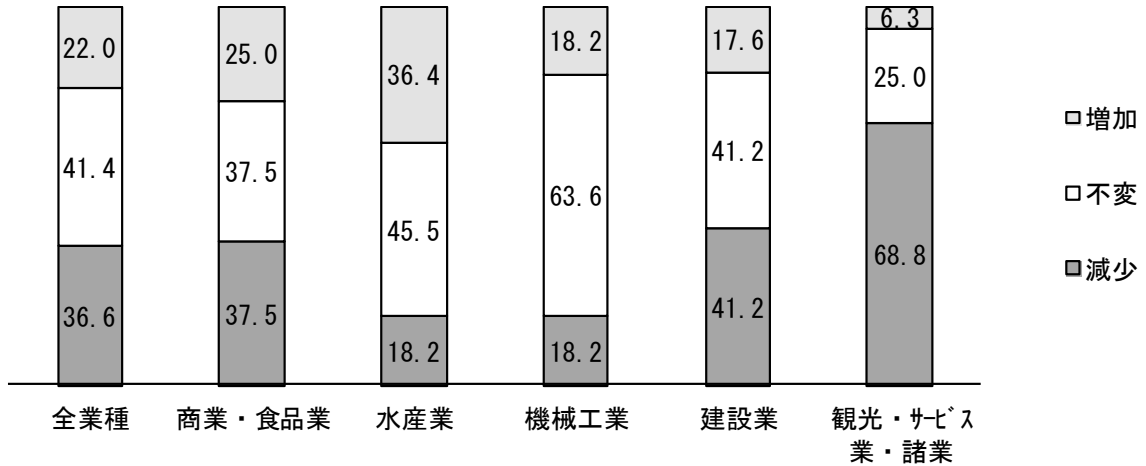


全業種平均DI値▲11.0 [今期の業況（前年同期比▲10.9）より0.1ポイント悪化の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成30年4月～6月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

次期の売上高・生産高見通し（今期比）

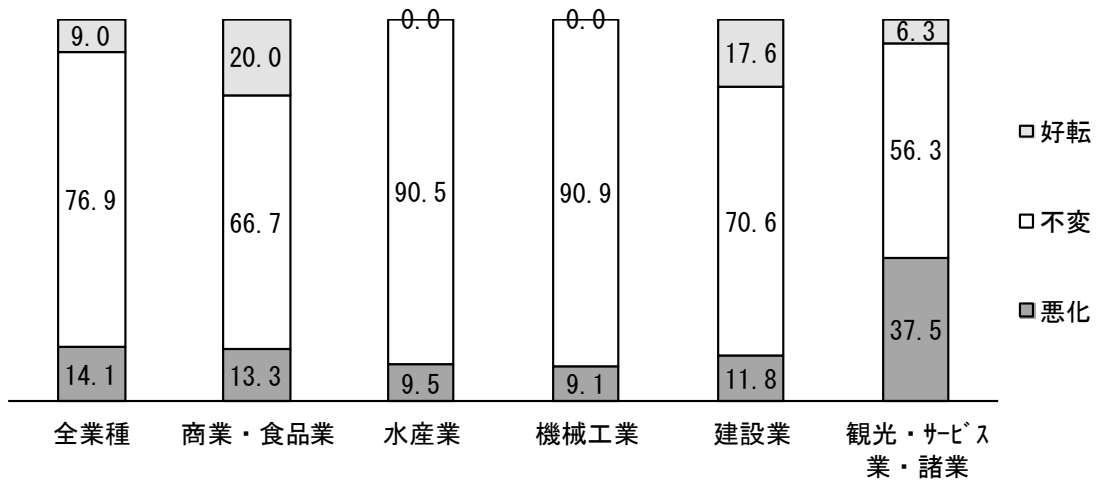


全業種平均 DI 値▲14.6 [今期の売上高・生産高（前年同期比▲15.9）より 1.3 ポイント増加の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成30年4月～6月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値 ▲5.1 [今期の資金繰り（前年同期比▲3.7）より 1.4 ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食品業	水産業	機械工業	建設業	観光サービス ・ 諸業
業況判断 D・I	今期実績	▲10.9	▲43.8	18.2	18.2	▲35.3	▲12.5
	来期見通し	▲11.0	▲18.8	18.2	0.0	▲17.6	▲43.8
売上高・ 生産高 D・I	今期実績	▲15.9	▲43.8	13.6	9.1	▲29.4	▲31.3
	来期見通し	▲14.6	▲12.5	18.2	0.0	▲23.5	▲62.5
在庫 D・I	今期実績	▲18.9	12.5	▲42.9	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	▲20.7	▲37.5	4.5	18.2	▲41.2	▲43.8
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲3.7	▲6.3	4.8	9.1	▲5.9	▲18.8
	来期見通し	▲5.1	6.7	▲9.5	▲9.1	5.9	▲31.3
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	▲6.6	▲8.3	▲9.5	0.0	▲5.9	▲6.3
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	▲10.7	0.0	▲9.5	0.0	▲17.6	▲18.8
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準D・I値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。